新愛知 夕刊
夕刊一部金(八)錢 名古屋市中區南大津町通リ 發行所 新愛知新聞社

日・英米西太平洋で開戰

宣戰布告の大詔渙發 今曉斷乎膺懲の火蓋

詔書

天佑ヲ保有シ万世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海軍將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ衆庶ハ各々其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑々東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ丕顯ナル皇祖考丕承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ万邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有余ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提携スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス剰ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ增強シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ回復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益々經濟上軍事上ノ脅威ヲ增大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衞ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日

各大臣副署

大本營陸海軍部發表(十二月八日午前六時)帝國陸海軍は本八日未明西太平洋においてアメリカ、イギリス軍と戰鬪狀態に入れり

我が隱忍はつひに破れた、英米兩國の非道なる極東侵略の野望はわが方の隱忍につぐ隱忍をもつてする態度にもかかはらず洙豪つひに拓かれず斷乎として一大鐵槌を降すのほかなきにいたつたので帝國政府は七日午後一時米野村、來栖兩大使をしてアメリカ政府に最後通牒を手交せしめた、かくして帝國と英米兩國の國交は斷絶されるにいたり、わが陸海軍は八日未明早くも西太平洋において米海軍と戰爭狀態に入り史上空前の一大決戰の火蓋が切つておとされた、政府は八日午前七時五分臨時閣議を開いて廟議を決定、直ちに宮中に御前會議が開かれ對英米宣戰を議決し同十一時畏くも天皇陛下には宣戰布告の大詔を渙發あらせられた、かくて祖國三千年の大理想たる東亞共榮圈確立の嚴たる決意は一億國民の運命を賭して强硬早くも洋上各據點において皇軍の威武が發揮されつゝある

東亞の興廢この一戰

政府聲明

政府は宣戰布告の大詔を拜するや直ちに左の如く政府聲明を發してその所信を表明、皇國を磐石の安きにおくため國民悉く殉國に赴くの傳統を發揚すべきことを明示した

政府聲明 恭しく宣戰の大詔を捧戴し茲に中外に宣明す

抑々東亞の安定を確保し世界平和に貢獻するは帝國不動の國是にして列國との友誼を敦くしこの國是の完遂を圖るは帝國が以て國交の要義となすところなり

然るに曩に中華民國はわが眞意を解せず徒らに外力を恃んで帝國に挑戰し來り支那事變の發生を見るに至りたるが御稜威の下皇軍の向ふ所敵なく既に支那は重要地點悉くわが手に歸し同憂具眼の士國民政府を更新して帝國はこれと善隣の誼を結び友好列國の國民政府を承認するもの已に十一ケ國の多きに及び今や重慶政權は奥地に殘存して無益の抗戰を續くるに過ぎず、しかれども英米兩國は東亞を永久に隷屬的地位に置かんとする頑迷なる態度を改むるを欲せず百方支那事變の終結を妨害し更に蘭印を使嗾し佛印を脅威し帝國と泰國との親交を割かんとする策動止まらざるなし、即ち帝國とこれら南方諸邦との間に共榮の關係を增進せんとする自然的要求を阻害するに寧日なし、その狀恰も帝國を敵視し帝國に對する計畫的攻擊を實施しあるかの如く遂に無道にも經濟斷交の擧に出づるに至れり凡そ交戰關係に非ざる國家間における經濟斷交は武力による挑戰に比すべき敵對行爲にしてそれ自體默過し得ざるところとす、しかも兩國は更に與國を誘引して帝國の四邊に武力を增强し帝國の存立に重大なる脅威を加ふるに至れり、帝國政府は太平洋の平和を維持しもつて全人類に戰禍の波及するを防止せんことを顧念す

叙上の如く帝國の存立と東亞の安定とに對する脅威の濃化なるものあるに拘らず隱忍自重八ケ月の久しきにわたり米國との間に國交交涉を重ねアメリカとその背後にあるイギリス並にこれら兩國に付和する諸邦の反省を求め帝國の生存と權威との許す限り互讓の精神をもつて事態の平和的解決に努め盡すべきを盡し なすべきを なしたり、しかるにアメリカは徒らに架空の原則を弄して東亞の明々白々たる現實を認めず、その物的勢力を恃みて帝國の眞の國力を悟らず與國と共に頻りに武力の脅威を增大し、もつて帝國を屈從し得べしとなし、かくて平和的手段により米國ならびにこの與國に對する關係を調整し相携へて太平洋の平和を維持せんとする希望と方途は全く失はれ東亞の安定と帝國の存立とは方に危殆に瀕せり事茲に至りつひにアメリカ及びイギリスに對し宣戰の大詔が渙發せられたり、聖旨を奉體して洵に恐懼感激に堪へずわれら臣民一億鐵石の團結を以て蹶起勇躍し國家の總力を擧げて征戰の事に從ひもつて東亞の禍根を永久に芟除し聖旨に應へ奉るべきの秋なり

惟ふに世界萬邦をして各々その所を得しむるの大詔は炳として日星の如し帝國が日滿華三國の提携により共榮の實を擧げ進んで東亞興隆の基礎を築かんとするの方針は固より渝るところなく、また帝國と志向を同じうする獨伊兩國と盟約して世界平和の基調を劃し新秩序の建設に邁進するの決意は益々牢固たるものあり、しかして今次帝國が南方諸地域に對し新たに行動を起すのやむを得ざるに至る何らその住民に對し敵意を有するものにあらず、たゞ英米の暴政を排して東亞を明朗本然の姿に復し相携へて共榮の樂を頒たんと冀念するにほかならず、帝國はこれら住民がわが眞意を諒解し帝國とともに東亞の新天地に新たなる發足を期すべきを信じて疑はざるものなり

今や皇國の隆替東亞の興廢はこの一擧に懸れり、全國民は今次征戰の淵源と使命とに深く思ひを致し苟くも驕ることなくまた怠ることなく、よく竭しよく耐へもつてわれら祖先の遺風を顯彰し難關に逢ふや必ず國家興隆の基を啓きしわれら祖先の赫々たる史蹟を仰ぎ雄渾深遠なる皇謨の翼贊に萬遺憾なきを誓ひ、進んで征戰目的を完遂しもつて聖慮を永遠に安んじ奉らんことを期せざるべからず

内閣告示 第十六號

帝國ハ今八日米國及英國ト國交斷絶シテ交戰狀態ニ入レリ

昭和十六年十二月八日

内閣總理大臣 東條英機

臨時議會召集さる

會期十五日より二日間

政府は八日午後谷情報局總裁談の形式をもつて臨時議會召集に關し左の如く發表、今議會には戰時財政を確保する豫算案ならびに法律案を提出し協贊を求めるとともに未曾有の國難に對處すべき政府の所信につき首相をはじめ陸、海、外各大臣よりそれぞれ決意を表明し國民の總力發揮に萬遺憾なきを期することゝなつた

朕軍國ノ急務ニ關シ帝國議會ノ協贊ヲ望ムモノアリ茲ニ帝國憲法第七條及第四十三條ニ依リ本年十二月十五日ヲ以テ臨時帝國議會ヲ東京ニ召集シ二日ヲ以テ會期ト爲スヘキコトヲ命ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日

各大臣副署

谷情報局總裁談 このたび宣戰の御詔勅が下りましたが、これに伴ひ十二月十五日に臨時議會を召集せられる旨の詔書が本日官報號外をもつて公布せられました、なほ會期は二日間でありまして政府は本議會において戰時緊急を要する豫算案および法律案につき協贊を求めるとともに時局對處の所信を國民に表明せんことを期してをります

英米の全基地强襲

爆擊に並行馬來に上陸

【大本營陸海軍部發表】(八日午前十一時五十分)我軍は陸海緊密なる協同のもとに本八日早朝馬來半島方面の奇襲上陸作戰を敢行し着々戰果を擴張中なり

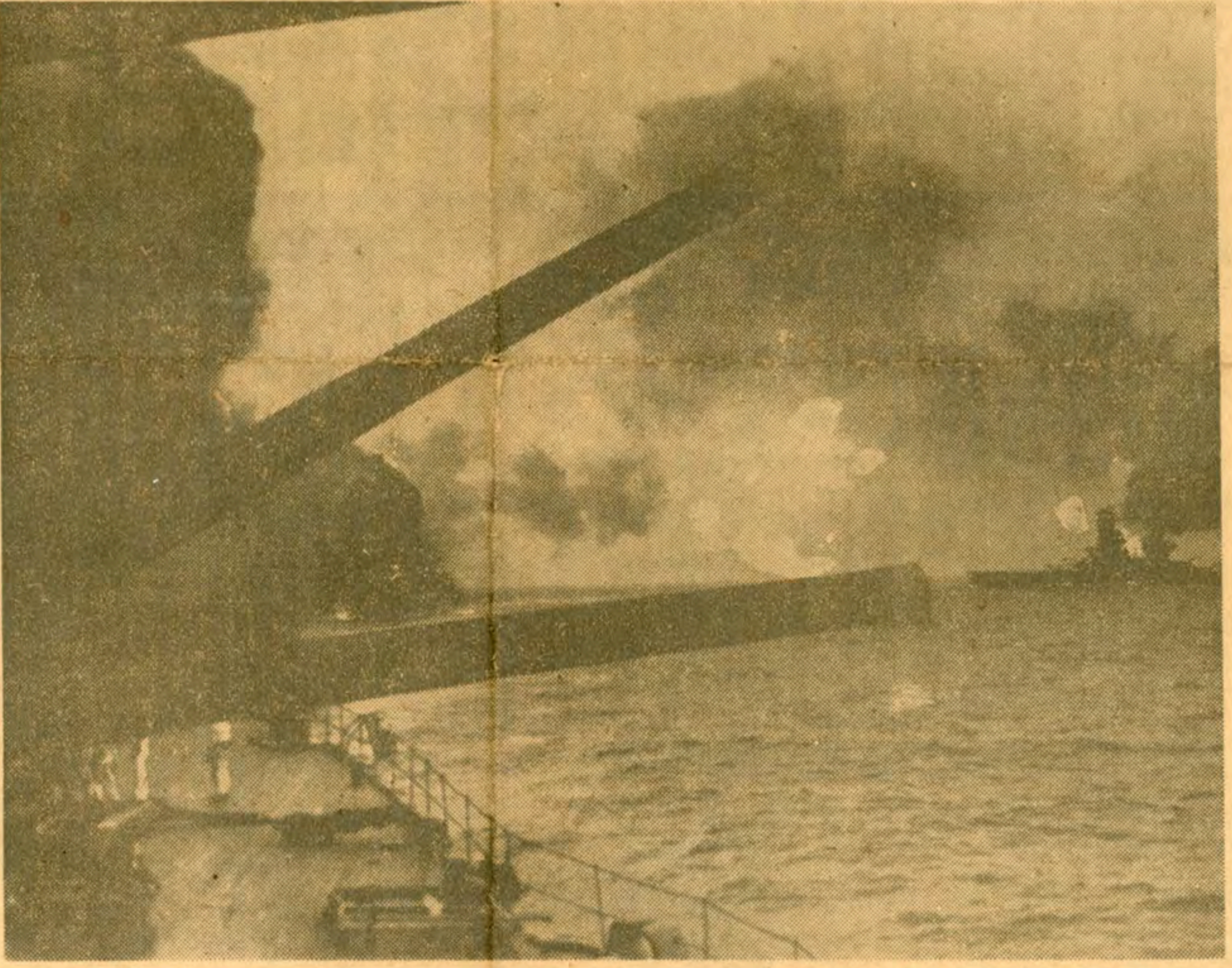
大本營陸軍部發表(八日午前十一時四十分)わが軍は本八日未明戰鬪狀態に入るや機を失せず香港の攻擊を開始せり

大本營海軍部公表(八日午前十一時十分)一、帝國海軍は本八日未明ハワイ方面の米國艦隊並に航空兵力に對し決死的大奇襲を敢行せり

二、帝國海軍は今八日未明上海においてイギリス砲艦『ペテレル』を擊沈せり、アメリカ砲艦『ウエーク』は同時刻われに降伏せり

三、帝國海軍は八日未明シンガポールを爆擊し大なる戰果を收めたり

四、帝國海軍は今八日早朝『ダバオ』『ウエーク』『グアム』の敵軍事施設を爆擊せり



擊滅の火蓋切つたわが無敵艦隊

獨對米宣戰か

【ストックホルム八日發同盟】七日のロイター=ワシントン電によればワシントンの一部有力筋の間ではドイツは今後二十四時間に對米宣戰を布告する可能性ありと稱してゐる

皇軍泰國に進駐

侵入の英軍一擧に擊退

【バンコック八日發同盟】駐タイ帝國大使館當局談(八日午前四時發表)=かねてよりイギリス軍が十二月八日南タイに侵入計畫の確證を掴みをりたるところ果然八日早曉マレー國境を突破し侵入を開始せり、日本は南太平洋の平和維持とタイ國の獨立維持につきタイ國政府と交涉を開始すると共にタイ國の獨立を救ふため直ちにこれを反擊イギリス軍をタイ國外に掃蕩しつゝあり

經濟不安なし

賀屋藏相談發表

八日未明わが國と英米との間に戰爭狀態が現出するに至つたが賀屋藏相は今後における金融問題につき萬遺憾なき措置を講ずるため同日金融業者代表を官邸に招致し政府の方針を説明して經濟界に衝動を與へざるよう金融の円滑なる運行につき協力を要望するとともに同日午後零時半次の如き大臣談話を發表した

賀屋藏相談 政府においてこの際なさんとする非常金融對策は今次の戰爭にあたつて今後萬一わが領土の一部が空襲をうけるが如き場合において國民經濟の混亂を防止し產業の運行と資金の蓄積とに支障なからしめ國民の戰時生活の秩序を維持して人心を安定せしめることを目的としたもので、その主なるものを擧げれば次の如くである

一、預金引出しに關する對策=政府は今後いかなる事態が起つても絶對に預金の支拂ひを制限しないのみならず日本銀行、朝鮮銀行および台灣銀行から積極的に支拂資金を供給せしめ、いくらでも預金の支拂ひに應ぜしむることとし、このために必要な現金輸送の方法までもすでに手配濟みである、また必要な場合にはこれら三銀行その他金融機關一般の預金債務の支拂ひを保證せしめ預金者に毫末の心配もさせぬやうにすでに萬全の措置を了してをる

二、戰災被害者の金融機關に對する"債務の處理"爆擊などによつて直接間接に損害を受けたために被害地域内に營業所などを有する者の振出した手形などが不渡りとなつたり、あるひはこれらのものが金融機關から借出してゐる資金が償還不能となる惧れがあるやうな場合には產業界および金融界に對して不測の惡影響を及ぼすことがあるからこれらの手形などに對しては金融の道をつくるために日本銀行朝鮮銀行および台灣銀行から右手形の割引などの方法によつて積極的に資金の融通をはかつて經濟界の安定をはかることとした

三、緊要產業に對する金融的保護 緊要產業を營む事業會社などが戰爭の影響をうけてにはかに運用の低下を來し金融機關などから貸出金の回收をうけこれを放置すれば經濟不安を釀成して生產力低下を來す惧れのある場合に於ては日本興業銀行または日本勸業銀行にその貸出金の肩代りまたは保證を引受けさせて產業界の安定を保持する手筈がすでに完了してゐる

蘭印邦人逮捕命令發す

【バタヴィア八日發同盟】蘭印政府は八日在住邦人の逮捕命令を發令、目下蘭印全土に亘つて在留邦人の逮捕が大規模に行はれてゐると

防空法實施

大本營陸海軍部發表八日午後一時五十分=本日必要な區域に防空法實施を下令せられたり

文字塔

皇邦の劍は遂に拔かれた、大詔渙發の下、一億國民火となつての奮戰ぶり。

◇

隱忍いまや破れたり、暴慢アメリカを討つて大東亞聖戰のとき到る—

◇

わが海空軍、三時間にわたつてハワイ初空襲、早くも敵の胸元を突く快擧。

◇

黃浦江には英米軍艦を擊攻、米艦にひるがへる日章旗に勇ましい日本軍の自信よ。

◇

開戰と同時に間髮をいれぬ皇軍の行動、英、米全基地を爆擊して意氣軒昂たり。

號外發行

本日日米開戰に關し號外を二回發行、速報しました

ヘイタイサンニ オテガミカコウ マルゼン アテナインキ

能率百倍! 誰にもわかる使用說明書付 リレー計算尺 東京・銀座 三・五〇より ★カタログ呈 理研光學工業株式會社計算尺課

貯蓄實践 我等の力で 17,000,000,000円 金錢信託で 住友信託 名古屋支店 新榮町一

高度榮養劑一日二錠 鐘研ビタミンホルモン錠 加藤物產株式會社

顔 小皺・弛緩・雀斑 面皰・色素沈着 容色ノ衰退防止 ペラニンパスタ ペラニンパスタノ塗擦ニヨリ高單位ノ女性ホルモンガ直接皮膚面カラ体内ニ吸收サレテ皮下細胞ノ新陳代謝機能ヲ高メ、血流ト血色ヲ充溢セシメテ容色ノ衰退ヲ防止スル 鹽野義商店 SP-356

感冒・肺炎に三十分しつぷ藥 デルモライツ 使へる濕布藥 溶けだるい 風邪や感冒或は氣管枝炎や肺炎の際に僅か卅分間この濕布を胸と背中にします と鎭痛解熱と消炎病菌獨自の防衛力に强化により病狀を輕化します D.1656

かぜねつづつう 感冒に解熱藥は禁物! 鳥犀角配合の小林鳥犀角散は速かに熱を下げ氣分を爽快にし感冒を輕症の間に治癒に導き餘病の併發を防ぎ頗るよく副作用習慣性のない良藥です 感冒には高貴藥配合の小林鳥犀角散を! 發賣元 小林大藥房 小林 鳥犀角散

化强力体 散消勞過 新發賣 善同カロチン錠 大阪帝國大學醫學部教授 梶原三郎博士指導 理研科學研究所 伊藤謙造博士 田島勝雄技師 發見創製 本劑は今春第八回日本醫學會にて世界的研究として日本藥學會に於て發表されたる動物性カロチンを主劑とせる高度榮養劑なり 適應症 中北商店 同善製藥株式會社

英米撃たんかな

存亡賭して世紀の閣議 烈々決意固し全大臣

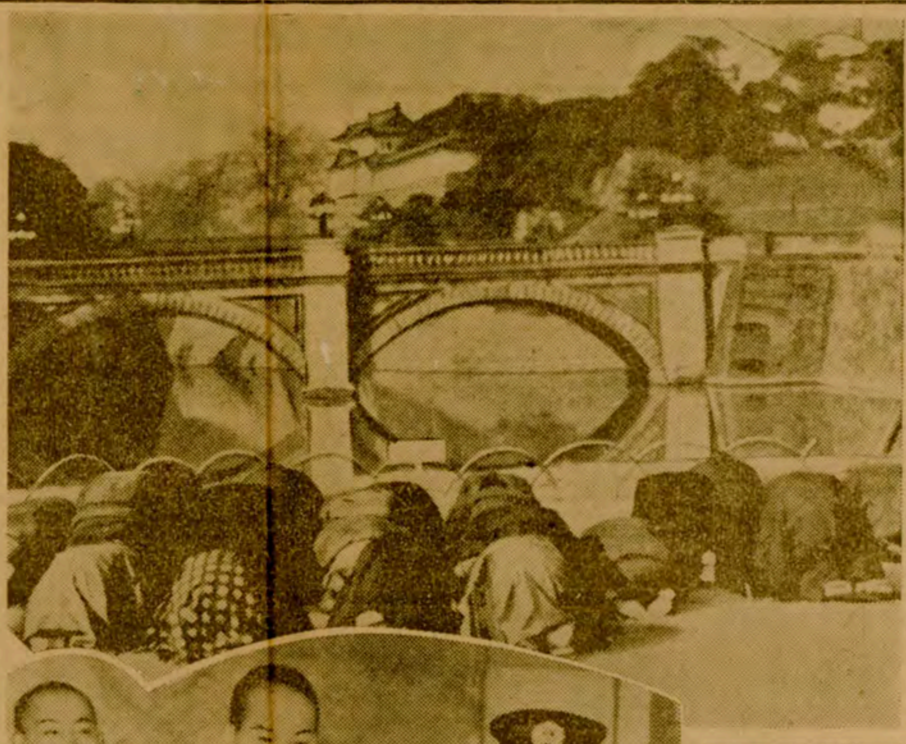
驕慢あくことを知らぬ英米に對して帝國の斷を下す待望の日は來た、——「英米軍と交戰狀態に入れり」大本營陸海軍部公表の號外が初冬曉の冷氣を衝いて八日朝六時全國の津々浦々に傳へられた、一億國民奮起しく起つて敢然戰ふの時來るのを告げたのだ、この朝首相官邸は薄闇の曉から憲兵警官が物々しい警戒を張る斷乎たる決意をみせて超非常時の態度に應ずる戰時閣議が招集せられたのである、午前七時小泉厚相が葉の散り敷した議事堂横の公孫樹の並木道を飛鳥のやうに車を走らせて到着、續いて東郷外相と昨夜來官邸日本間に泊り切りの東條首相を除く各大臣が前後して異常な緊張裡に官邸に入つた、朝日を受けて輝くどの各閣僚の顔にも包み切れぬ決意が窺へてゐる、同七時九分から直ちに閣議開催この決戰閣議はわづか十五分で終り同二十五分再び東條首相をはじめ各閣僚は車上の人となつて參內、遙かに參謀本部の青屋根と海軍省の赤屋根が旭日の中に燦然と輝いてゐる

『斷』の一瞬歡聲揚る 裂帛の氣滿つ發表文の讀上げ 大本營陸海軍部

[illegible]斷を下す時は來た「隱忍度あり、自重限りあり」——決戰へ一億の決意が血とたぎる興亡の只中に突如提示された帝國「斷」の一閃遂に對米英蘭三國へ宣戰が布告されたのだ、正に歷史的な一日、昭和十六年十二月八日——この歷史的な一日の幕は大本營陸海軍部の對米英戰鬪開始の發表で切つて落された

午前六時凄烈の氣漲りこもる曉の靜寂を破つて三宅坂の陸軍省記者室へ大平大本營陸軍報道部長が海軍省軍務局田代中佐、陸軍省報道部富永少佐等々次々と入つて來た、裸電球に照らされた面に物凄いまでの決意をただよはせて さつと室內に張る緊張、息詰る一瞬＝裂帛の氣合ひをこめて發表文を讀み上げる大平部長の力強いバスが響き渡つた「大本營陸海軍部發表＝帝國陸海軍は今八日未明西太平洋に於て米英軍と戰鬪狀態に入れり」歷史的な第一聲が放送されたのである

記者團の包圍陣の中で異常な緊張に顫へる聲で堂々と聲張り上げて大平部長の發表が繰返された、二度繰返しても一分とはかからぬ短かい發表だ、だがその中に簡潔に盛上つた「斷」の決意に思はずどつと揚がる歡聲帝國の存亡を賭けた聲明の一語！いつしか緊張の夜が明けて三宅坂の興奮は巷を飛び交ふ號外續報しラジオの臨時ニュースにこの日を待ちわびた全國民に傳へられた



寫眞說明 ㊤日英米會戰に宮城前に土下座する赤子と㊦重大發表をする大平陸軍報道部長と田代海軍中佐＝電送

艱難辛苦を忍び最後の光明へ 三坂名地方海軍人事部長談

西太平洋の戰鬪狀態に火蓋が切つて午前十一時五十分遂に宣戰の大詔が渙發せられた、英米膺懲の時は來たのだ、今ぞ皇軍が太平洋の激浪に揚げられ無敵帝國海軍の艦艇は洋上各所に威武を發揮してゐる、この朝軍艦旗へんぽんと翻へる名古屋地方海軍人事部で部長三坂直康大佐は嚴肅な面持ちで決然と左の談話をなした

かくある日を覺悟して海軍では準備してゐた『艦隊護る海軍』これは形容詞ではない、配備に[illegible]しろ訓練にしろ海軍のモットー"不言實行"に物言はせる來るべきものが遂に來たのだ、うみきつた膿物にメスを入れてスッとしたこの氣持が、この際一番適切した言葉だ、しかしこの戰ひは容易ならぬ興亡を賭する戰爭だ、敵のデマ宣傳がより以上に[illegible]の意思を以て動搖しないことだ[illegible]師を前に[illegible]海軍と一體となつてやつて貰はなくてはいけない、[illegible]に頑張つて貰ひたい

愛知縣廳の決意 相川知事烈々の[illegible]

職域を護れ 愛知縣廳の緊急時對策

この日愛知縣では午前十時から縣廳において緊急戰時對策委員會を開きもろもろの場合における對策を講じその備へを樹立、十一時より全廳員を縣廳前廣場に集め「各員はその職域において万全をつくせ」と訓示、引續き部長會議を開いて縣廳各事項につき細目に亘り万全策を協議決定した、なほ十二日開催豫定の縣下市町村會議を九日午後一時からに引上げ相川知事より三時二十分縣民の心構へを強調することになつた

全縣下に準備體制 けふ愛知縣警察部告示

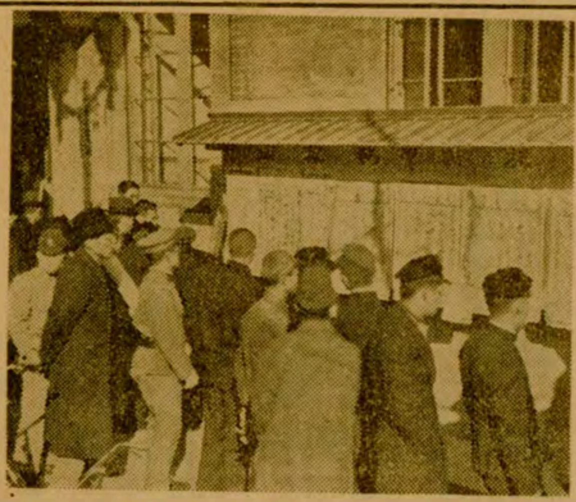
【愛知縣警察部午後二時告示】今夕縣下の郷土防衞のため愛知縣は今夕からいよいよ縣下全部に對し第四條規定により防空警備體制を實施する旨發表した、よつて屋外燈中廣告燈、看板燈、門燈、特別屋上燈へ神社、寺院の燈)は全部消され警報も解除されることとなつた、なほ前記期間中除外される、警察部ではいよいよ國民防空の萬全を發揮するやう望んでゐる

△十二月一日至十五日 日出午前六時四十七分、日沒午後四時四十分

△十二月十六日至三十一日 日出午前六時五十八分、日沒午後四時四十五分

右一般の注意をのぞんでゐる

"大いに戰ふぞ"緊張中京の朝



來るべきものが遂に來た太平洋の波濤今や高し！こゝ數日來日米和戰興亡の關頭に立つて國民の關心を一點に集めた日米兩國間の關係は突然八日戰鬪狀態に入り續々に入るニュースに一億國民はたうとうやつたかの喚聲を深くしてわが皇軍に絶對な期待をかけてゐる、この朝中京では電波に傳へるニュースをまづ中央放送局では數回繰りかへしこれを放送、高らかな軍艦マーチに我が國民の士氣をいやが上にも昂揚して皇軍の威容をまのあたりに見るやうである、本社でも續々に入るニュースを社前に貼り出し道行く市民は一人殘らず立ちどまつて"堪忍袋の緒が切れるのも當然、しつかりやらう"と腕をさする興ひに決戰下足並み揃ふ國民の意氣また中京市の腰營名古屋地方海軍人事部では平常通りの勤務に部員一同泰然自若沈默の中に威容が備はる頼母しさだ"さあ戰ひだ"來るべきものが遂に來たのだ（寫眞は本社前の速報を見る人々）

各地に揚る膺懲の聲

【宇治山田】宇治山田市では八日朝宣戰の大詔渙發を拜承し午後一時[illegible]會を開き、時艱克服、聖業完遂祈願を捧げる件を全會一致[illegible]緊張裡に決議し議員一同は神宮に參拜、皇軍の武運長久祈願をこめて各國民、學校および全市民代[illegible]（宇治山田）

【豊橋】豊橋市および寶飯[illegible]郡各町村では八日[illegible]會を開き各神社に市會議員が[illegible]參拜戰捷祈願を行ふ

『大久保彦左衛門』休載

國難突破決議を可決 協力會議けふ一日で休會

國難突破のため一億國民の總意を徹底すべき大政翼贊會の第二回中央協力會議は八日午前九時三十分振鈴を合圖に全員緊張裡に議場に集合後藤協力會議長より時局重大のため會期を短縮する旨を宣し直に休憩の姿勢をとりこの間政府當局と折衝の上、プログラムを決定午後一時再開することになりしかして午後は東條首相兼陸相および海軍兩相各大臣から八日未明勃發せる英米との戰鬪に關しその經過並にこれが原因となつた日米交渉について說明政府の所信を闡明[illegible]が同十一時半から市會議事堂上に全議員を集め緊急幹事會を開いた

一日八日をもつて閉會することとなつてゐるが、協力會議としては『國難突破』の決議を全員一致をもつて可決それより宮城前に至り代表者により右決議を朗讀して全日程を終る

緊急幹事會

名古屋市役所では宣戰布告發せられるや直ちに緊急幹事會を招集各局部長、十區長ら出席、百四十万市民の決戰體制の整備に關する協議で開き[illegible]防空、警備救護その他の戰時體制に入つた

【大垣】大垣市では午前十一時[illegible]市長以下市役所[illegible]が續々と[illegible]に參拜戰勝の祈願をこめ一層の決意を固め銃後の心構へを示した（大垣）

佛印民衆冷靜たれ 公布發表

【サイゴン八日同盟】わが駐屯軍は八日朝サイゴン市民に對しフランス語および安南語をもつて左の如き布告を發した

一、日本帝國はイギリスおよびアメリカ合衆國に對し交戰を開始した

一、フランスおよび印度支那は日本の良き友である

一、冷靜なれ

また佛印當局は同日朝大要左の如き布告を發した

日本帝國から日本がイギリスおよびアメリカに對し交戰狀態に入つた旨の通告があつた、住民は佛印總督の指揮下にあつてあらゆる困難さをもつて命令に從ふべし

長期戰を覺悟 櫛淵師團長市民に協力要望

櫛淵名古屋師團長は宣戰布告の八日午後熱田神宮並に護國神社に戰捷を祈念したが、これに先だち左の談話を發表した

今朝以來米英軍の目標し[illegible]は銘記すべきである、しかし何といつても戰場たる海洋は廣く敵にも裝備した空軍があるから國土の防衞といふことが最も大切である、しかし廣い國防だから防備が洩れるといふこともあるがいざ空襲といふ場合には國民の一人一人がよく一致して挺身防衞にあたらねばならない、戰捷は勿論期されるがこの戰ひは永びくといふことを覺悟し"げきの堅確"を何年でも持續することが肝要である

三十分しっぷ薬 テルモライツ

名株市場暴騰 國民の決戰態度を示す

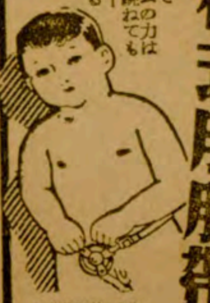
英、米にむかつて斷乎膺懲の火蓋をきり戰鬪狀態に入れりといふ報を入れた八日の中京財界方面はこれにより東亞より不愉快なる英米の重壓を一掃し皇國永遠の繁榮の[illegible]を期待し得るものとして明朗なる氣分が加へられしかも無限の緊張裡に斷乎不動の決意をみせた、なかにも名古屋株式市場ではかねて豫期の上のこととてあり刻々活潑なる皇軍の戰況をいれて人氣沸騰、買ひの一手といふ戰勝の市況を呈した、前場の市況は東新は百十四円六十錢と六月以來の新高値に急反撥し前日大引より四円五十錢高、大新も三円二十錢高に急反撥しその他の諸株も同樣堅調を示して後場は三十分立會延長して一時半より開始したが立會前に[illegible]國民儀禮を行ひ君が代を奉唱し[illegible]東新二十四円九十錢の大相場の[illegible]

新合成 女性卵胞ホルモン劑 エスチモン

月經不順・月經痛に 婦人更年期障礙に

田邊新發賣

切らずに治る！ 小柳式脫腸帶



ピタリ…鼠蹊によく合つてやはらかいゴムの力は肌を傷めず跳ねても飛んでもハヤク快くなる 小柳式を…

全國藥店にあり 大人用・中人用 小人用・嬰兒用

東京市神田區須田町四 三信株式會社

發賣元グロタカ代理店

國力相場展開

西太平洋において日米戰鬪狀態に入つたと傳へられたがすでに最後の通牒に[illegible]

明暗語

[illegible]

株式 買氣勃發し大暴騰

[illegible]

生糸 人氣冷靜 小甘し

南方株一齊高

[illegible]

今夜のラジオ

[illegible]

現物

[illegible]

神戸

[illegible]

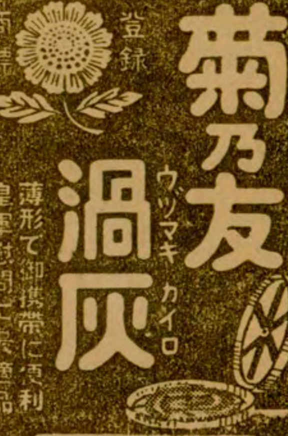
株式		
[illegible]	[illegible]	[illegible]

後藤證券株式會社

名古屋・住吉町　名株一般取引員 後藤新十郎

登錄商標 菊乃友 ウヅマキ カイロ 過灰

薄形で御携帶に便利 皇軍慰問に最適品



ぜん息・神經痛 高血壓 中風 不治でない 今津博士の素晴しい研究

[illegible]

今津研究所

住宅難は我が社の月拂建築で解消す！

本社は中部日本に於て最古の歷史を有しその契約高も第一位にして更に最高の技術者を持つことを誇とす 一般建築請負並に月拂建築

（カタログ進呈）

壽塚木材株式會社 社長 阿部義顯

切られ與三郎 帝劇

九日より 黃金道中

玉松一郎・玉松ワカナ主演

歌ふ里見藍子！

名古屋寶塚劇場

絕讚堂々續映！大東寶が誇る 川中島合戰

豪華實演 コロムビア・レコード 伊藤久男 東寶映畫スター 里見藍子 谷口又士とその樂團出演

明9日より

キメ細かな素肌美をつくる 明色アストリンゼン

美容にも科學の力を

朝日新聞
發行所 朝日新聞大阪本社

世界の盛儀「大東亞結集國民大會」 帝都で開催

世界史を新たにする大東亞會議が白堊の殿堂帝國議事堂の會議場を出て日比谷原頭都民十萬の歡呼に迎へられて七日午前十時からの『大東亞結集國民大會』となつた、直接日比谷の大會に參會した人員十萬とはいへラジオを通じて津々浦々まで一億すべて大東亞結集の叫びに和し、眞に擧國的な盛典であつた

總親和の大歡聲 世界に轟く正義の咆哮

この日大會參會の東京都下各團体愛國壯年團員二万五千を筆頭に大日本產業報國會、商業報國聯盟、農業報國聯盟、海運報國會、大日本青少年團、大日本勞務報國會、大日本婦人會はじめ各町内會長、隣組長、國民學校敎職員、宗敎敎化關係各團体、それに一般參會者、總數十万は凛烈の秋氣をおかしてはやくも午前八時より陸續會場に入り銀の翼光輝く國旗、會旗數千旒整然螢々の底をなす演壇に向つて正面中央には國服、戰闘帽のカーキー一色、両翼に日婦、女子青年團の黑制服の一角、右翼に中華民國、滿洲國、ビルマ、タイ、フィリピン各大東亞の留學生はじめ華僑協會など在留民が結集大會

特異の色 を示す、一般參列者は後方一杯、場に溢れ、植込に溢れてゐる、公會堂の褐色の大壁間を背景にした演壇は幔幕の東亞を引いて左右両翼に各界主要席、一段高く海軍軍樂隊、さらに一段高く向つて右最前列が東條首相はじめ主催者側の翼政總裁、大達都長官をはじめ各閣僚、向つて左が晴れの各國代表の雛壇である、その背景に中央の大日章旗を守つて盟邦六ケ國國旗を鮮かに描き、さらに瀬紫の柱高くそこに七ケ國國旗へんぽんと靡く湘寰さてある、開會三十分前から海軍軍樂隊の演奏で大會氣分刻々高潮するうちに十時十分開會

嚴かな宮城遙拜、國歌の齊唱があつて後藤大政翼贊會副總裁の詔書奉讀ののち戰歿將兵、前線皇軍將兵に對する感謝と武運長久の祈念が捧げられた

突如静寂を破る潮のやうな行進曲に抑げば正面演壇に東條首相を先登に瞬間に痴化を飾つた中華民國汪精衛行政院長はじめタイ國ワンワイ・タヤコン殿下、張滿洲國總理、ラウレル・フィリピン大統領、バー・モウ・ビルマ國總理、最後にボース自由印度仮政府首班がそれ／＼随員を伴つて續々と來臨、十万熱狂の拍手が地鳴りのやうな歡声とともに巻き起つた、汪中國代表、ワンワイ殿下、ラウレル大統領、張總理、バー・モウ總理、ボース首班、見慣れた親しい大東亞の指導者たちの顔だ、われらと血の通ふ顔だ、拍手は幾度か起つた、各代表たちはまたいまかれらと共に戰ふ盟主日本の銃後の人々に直面して親しくその息吹に觸れたのだ、演壇は大東亞のみが醸し出す大和のやうだ、スターマー独大使もゐる、閣僚らを除いて重光外相

全部の顔 が揃つてゐる、六ケ國代表と閣僚、居並ぶ此の一壇を飾つて菊とダリアが匂つてゐる

代表の入場着席終つて主催者代表阿部翼政會總裁兩総本部総理あり水野翼贊會興亜総本部総理を座長に推してまづ丸山翼贊會総長から皇軍感謝決議を語り滿場の拍手で可決、たゞちに東條兼陸相、嶋田海相に手交し、これに對し嶋田海相が陸海軍を代表して謝辞を述べる

ついで東條首相の演説は帝國不動の大信念を述べ、熱烈な咆哮となつて擴声機を揺すぶり後をうけて横川翼政代議士會副會長から謂つた大東亞戰爭完遂決議もまた拍手裡に可決され、いよ／＼大東亞各國代表の挨拶に移る、第一陣は汪中華民國代表である、ついで泰國ワンワイ殿下、張滿洲國、ラウレル・フィリピン、バー・モウ・ビルマ、ボース自由印度仮政府各代表の順で獅子吼すれば

滿場拍手 と萬歳の連續、興奮はいま頂点となる

終つてスターマー独大使挨拶、海ゆかばの齊唱、大達都長官による聖壽萬歳奉唱、永井翼贊會總務の盟邦、友邦萬歳三唱があつて「愛國行進曲」の齊唱裡に各國代表退場、こゝに大東亞結集國民大會は感銘のうちに閉會した、時に午後零時五十五分

皇軍感謝決議

大東亞の聖戰起りてより茲に二星霜、御稜威の下、我が忠勇なる帝國陸海軍は曠古の大戰果を收め、敵を東亞の天地より驅逐して、皇威を中外に宣揚し、以て大東亞建設の礎石を成せり、その勳功、戰果、寔に古今の戰史に絶すと謂ふべし

今や大東亞の建設は日を逐ひて進み、我が結戰以來の不敗の態勢、弥固きを加ふるときに方り、仇敵米英は各地に猛反攻を企圖して、失地奪還に狂奔し、戰局はまさに凄絶を極む、しかも帝國陸海軍は陸に海に赫々たる戰果と相俟ち、毎々敵を擊摧し、益々聖戰完勝の信念を堅くす、國民の感謝感激措く能はざる所なり

茲に大東亞結集國民大會は大東亞を擧げて総協力、以て大東亞戰爭の完遂に戮力敢闘せんとするに當り、謹みて帝國陸海軍の偉勳に對し深く感謝の意を致し、併せて崇高なる護國の英靈に對し厚く敬弔の忱を表す

右決議す

昭和十八年十一月七日

大東亞結集國民大會

戰爭完遂決議

大東亞の建設は日を逐ひて進み、我が肇國の理想は着々具現せられる。聖戰茲に二箇年、早くもこの黎明を迎ふ。皇威は全東亞に洽く潤に感激に堪へず。

今や大東亞の諸國家、諸民族は既に米英多年の非道壓迫より解放せられ、崇高なる道義に基き各々その所を得て、大東亞建設の偉業鏡成に邁進しつゝあり、我等は大東亞を永遠に大東亞たらしめ、以て世界恒久の平和を確立せざるべからず。

然るに抗敵米英は尚も執拗なる反攻を繰返し大東亞の奪還に狂奔す。茲に於てか全東亞は彌々共同の使命に徹し、必勝不動の信念の下、その総力を結集して飽迄も大東亞戰爭を完遂し、再び大東亞に於ける米英の跳梁跋扈を許さず、以つて世界新秩序の建設に協力せむことを期す

右決議す

昭和十八年十一月七日

大東亞結集國民大會

けふ大詔奉戴日 十億の總力結集 米英擊滅へ驀進

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

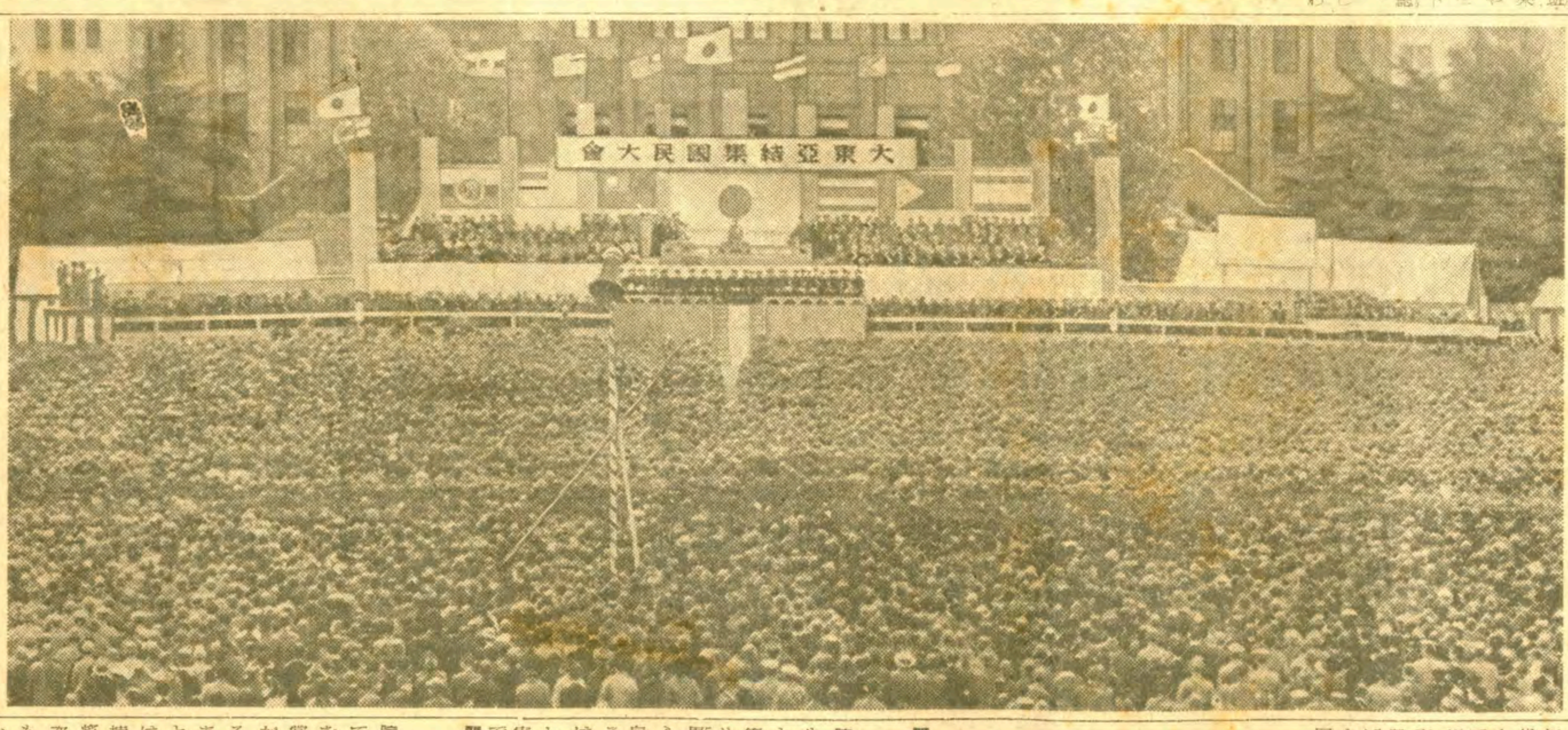
朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ衆庶ハ各々其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑々東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ丕顯ナル皇祖考丕承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提携スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス剩ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ增強シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ回復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益々經濟上軍事上ノ脅威ヲ增大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衞ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日



見よこの盛観！日比谷の「國民大會」（公園を埋め盡くす十万の參會者）東京本社電送

必勝の確信を倍加 東條首相演説 共榮圏一丸、敵擊碎

大戰爭のまつただなかにもかゝはらず、ここに本日中華民國、泰國、滿洲國、フィリピン國、ビルマ國および自由印度仮政府をそれ／＼代表せらるゝ各閣下方を迎へて大東亞結集國民大會を開催せらるゝにいたりたることは實に昭和の御代における一大盛儀であり、諸君とともに洵に慶祝にたへない次第である、大東亞各國代表は帝都に相寄り、大東亞會議を開催して大東亞戰爭の完遂と大東亞新秩序建設の方針に關し隔意なき協議を遂げ、完全なる意見の一致を見、いよ／＼協心戮力もつて重大なる共同使命を達成するの決意を新にし、昨日大東亞共同宣言を中外に声明いたした次第である、すなはち道義に基づく共存共榮の秩序建設、互に自主獨立を尊重する大東亞の親和確立、各民族の創造性を伸暢する大東亞文化の昂揚、互惠のもと緊密に提携する經濟發展、人種的差別を撤廢する世界進運への貢獻、以上の五大綱領に基づき、大東亞各國は相提携して大東亞戰爭を完遂し、新しき大東亞を建設し、もつて世界平和の確立に寄與せんとの決意をいよ／＼固くいたし、かつこれを昭かに世界に宣言したのである

◇すでに御承知の如く大東亞戰爭勃發後において大東亞の様相は全く一變したのである、皇軍ひとたび進撃するやいたるところに赫々たる戰果をおさめ、開戰後半歳ならずして米英多年の東亞侵略勢力は忽ちにして驅逐掃蕩せられたのである、しかも敵の総反攻を擊碎しつゝ大東亞の新建設は着々とその巨歩を進めてゐるのである、この間日滿の両國は一德一心親睦いよ／＼敦きを加へ、日華両國は既往の一切の經緯より脫却して東亞本然の姿に復歸する同盟國として新たに密接なる關係を結成するにいたり、また日泰の同盟關係はさらに新たなる一歩を進められたのである、しかも一方イギリス多年の壓制より解放せられたるビルマ國は独立し、またアメリカの欺瞞と搾取より解放せられたるフィリピン共和國も輝かしく新生したのである、さらにまた米英の暴戻あくなき壓抑暴虐より離脱して四億民衆の宿望たる獨立と自由と繁榮とを獲得せんがためスバス・チャンドラ・ボース氏の率ゐる自由印度仮政府の下に愛國の印度人はことごとく蹶起したのである

◇かくして大東亞戰爭勃發以來いまだ二年ならずして新大東亞の基礎はすでに確立し、こゝに大東亞の各國代表が雍穆の下に相會して畫期的なる一大會議を開催し、輝かしき成果を收めて、しかも本日こゝに本大會を見るにいたつたのである、洵に世界の盛儀と稱すべきであると思ふ

◇いまや大東亞においては内にあつては各國相信じ、相和し、相扶け外に對しては全力を盡くし米英の反攻を擊碎してゐるのである、宿敵米英がその物量力を恃んであらゆる総反攻を繰返すところはもとよりわれらの豫期せるところである、しかしながら正義の向ふところ敵はないのである、大東亞戰爭は正に破邪顯正の征戰であり、大東亞諸國家の上にあるのである、從つて最後の勝利のわれらに歸すべきは言を待たないところである、しかもわれらは緒戰の大戰果により必勝の戰略的優位を獲得してゐる、さらにまた帝國においては確乎不抜なる作戰に呼應して國内態勢を擧げて決戰化し、もつて急速に戰力の画期的增強に邁進してゐるのである、しかしてこれに加ふるに大東亞諸國はいよ／＼密接に帝國と協同し、この協同せる全力を擧げて宿敵米英の反攻を粉碎し、もつて大東亞永遠の安定をはからんとするの決意さらに牢固たるものがあるのである、われ／＼が必勝の確信をます／＼倍加するゆゑんは實にこゝにあるのである

◇翻つてドイツをはじめ欧洲における盟邦諸國はます／＼國内の強固なる結束の下に敢然として米英擊滅の新たなる作戰に出てゐるのである、かくしてわれ／＼は必勝の信念の下さらに強靭なる闘志をもつてあくまでも戰ひ抜かんとしてゐるのである、本大會を通じわれ／＼のこの烈々たる必勝の確信と不抜の闘志とを表明し得ることは諸君とともに私の眞に本懐とするところである

民族福祉のため 總力を結集邁進 主催者代表挨拶 阿部翼政總裁

顧るに東亞に邦する諸國諸民族の大部分は米英勢力のために自由と幸福とを奪はれ、搾取の對象となつてゐること實に幾十百年であつたが、今大東亞戰爭勃發後僅かに二年にしてかくもその様相を一變し、すでにこゝに迎へたる諸盟邦の方々が各善隣友好、互助敦睦の誼を交し、政治に軍事に、經濟にその契を新たにしてこゝに東亞の大事を議せらるゝにいたつたことは實に歷史あつて以來はじめての出來事であり、また世界驚異であつて、かゝる崇高なる精神の上に立ち、しかも建設的なる會議はいまだかつて見ざるところのものと確信するのである私どもは實に東亞人の福祉のためにまたひいては世界人類の幸福のために邁進遂行すべく萬全を期すところである

◇冀くは全アジア民族のすべてがこの正義と公道のために戰ひつゝある大東亞戰爭の眞の意義に徹し全國家全民族をあげて新秩序の下によく幸福に浴せしむべき一大使命に對しその総力を結集してあくまで所信に邁進せられんことを希望する

五ヶ國代表、總蹶起の決意 一問一答

大東亞會議各國の代表中國汪院長、泰國ワンワイ・タヤコン殿下、滿洲國張總理、フィリピン國ラウレル大統領、ビルマ國バー・モウ首相、自由印度仮政府首班スバス・チャンドラ・ボース氏は七日午前八時半からそれ／＼の宿舎において約一時間にわたり記者團と會見、声明書を發表した後記者團の質問に答へて率直にその所信を披瀝した、各代表が記者團に對し語つた言葉は何よりも大東亞會議の輝かしき成功を物語るものであり、大東亞共同宣言に則し戰爭完遂、大東亞建設に邁進せんとする堅き決意の表明であつた、われ／＼はこの中に大東亞會議の眞の意義と大東亞建設への巨歩が力強く踏み出されてゐる事實を見ることが出來る

重慶の迷夢を打破 中華代表

問 中國の立場に立つて大東亞建設綱領五原則のうち何れに最も重点を置かれるや

院長 五原則はこれが一体をなすものであつてその何れを重要なりといふことは出來ない、このうち第五原則は大東亞宣言がかのアメリカのモンロー主義と根本的に相異なることを明示したものだと思ふ、五原則の精神はすなはち獨立自主、共存共榮の八字に要約できるのであつて獨立自主といふことは各國それ／＼その能力を充実せしめることにあり、共存共榮は充実せる能力を伴ふ目標を示すものである

問 日華同盟條約が中國の和平地區および重慶におよぼした影響はどうであるか

院長 まづ一般的和平地區について述べてみたい、一体この大戰爭を戰ふ上に双方とも深甚の苦痛を嘗めることは明瞭なことであるが、苦痛の代價すなはち希望があるかどうかが問題になる、希望があればこそ艱難辛苦にも耐へることができる、和平地區の中國民衆は同盟條約締結以來明るい希望を持つにいたり、現在の苦痛の中に將來の希望を發見したのである、次に重慶側について見ると重慶側も同じくわれ／＼と同胞であるにかゝはらず現狀は慚愧に堪へないものがある、彼らもまた苦痛を嘗めてゐるが、その希望はわれ／＼とは別なものである、同胞の余の口から申し難いのであるが、重慶側はまだ非常な夢を見てゐる、現在重慶側は米、英、ソ、重慶が世界の四强國であるとのはかない夢を見てゐるのである、しかし同盟條約成立は必ずやかゝる重慶の夢を覺まし彼らを反省せしめることを確信してゐる、重慶の宣傳を見てゐると次の二点に歸納できると思ふ

すなはち大東亞戰爭以前彼らは抗戰なくとも國は亡びる、抗戰するとも國は亡びる、とすれば雄々しく最後まで戰へと宣傳し、悲觀論一点張りで軍および民衆を引摺つていつたのである、ところが大東亞戰爭後においてその宣傳方針を一變し、大東亞戰爭に勝つても中國は存在することにはならないと逆宣傳したのである、この重慶の現在の宣傳方針も悲觀論に立つてゐることでは前と同じことである、重慶は大東亞戰爭が失敗した場合米英が中國に對してどう出るかは百も承知してゐるが、米英に對する手前これを口に出さず大東亞戰爭が勝利に終つても中國の存在はないと言つてあくまで悲觀論によつて指導してゐる、この悲觀論をもつて對日和平反對の基礎としてゐるのである、今回の日華同盟條約はかゝる二種類の悲觀的心理を樂觀的心理に變へる点が眞に重大であると思ふ

すなはち大東亞戰前かれらがいつた抗戰建國といふ悲觀論は同盟條約によつて打破出來るのである、日本は中國を亡ぼさないのみならず中國を助けて中國の自主獨立を完成せしめるものなのだ、また大東亞戰爭後かれらのいふ大東亞戰爭が勝つても中國は存在しないといふ悲觀論は現に戰爭中に中國が解放されつゝあり、かつ戰後において中國の自主獨立の確立が同盟條約に明白であることによつて證されるのである、かくて日華同盟條約は重慶側に大きな影響を投じるものと思ふ、從つてこの條約を重慶の各層に、あらゆる部面に徹底せしめることが必要だと思ふ

問 物價問題および食糧問題を中心とする中國の現狀について

院長 物價問題と食糧問題は誠に現在中國でもつとも大きな問題である、これについては對策の根本をお答へする、すなはち中華民國の苦痛のうち免除出來るものは出來るだけこれを除いてやる、しかし戰爭によつて避け得ない苦痛はどうしても耐へてもらはねばならない、免除出來るものは第一に日本との協力方法を改善し、第二に統制方法を是正し第三に廉潔政治を確立しもつて民衆の苦痛輕減をはかりたい

問 國府の政治力、經濟力強化策について

院長 その要点は第一に思想の統一、第二に治安の確保、第三に生產の增強を眼目としてゐる、米國は前線の後方にあるので米英思想を驅除し、治安を確保し、農產、輕工業の增產を計つて後方の貢[illegible]を果したいと思つてゐる

問 印度獨立支援について

院長 中國現在の物的人力をもつて印度の独立を支持することは事實上困難であるが、印度の独立に對しては誠心誠意苦樂をともにしたい氣もちで一杯である、日本の印度支持の政策によつて印度民衆はこゝに苦痛の中に新しい希望を得たのであつて、イギリスが印度の志士ガンジー翁を逮捕せるに比し日本がボース氏を支持しつゝあることは著しく對照的なことである

舉國食糧增產へ 滿洲國代表

問 大東亞共同宣言のうちいづれの点にもつとも重点を置かれるか

總理 五原則は全部重要なものでその間に輕重の差を設ける考へはない、五箇條全部を遂行することによつて共榮圏は完成されるのである

問 大東亞戰爭完遂上日滿提携に關する所信を伺ひたい

總理 日滿華三國の關係は日々親密の度を加へつゝある、たゞ遺憾なのは蔣介石一派が別行動をとり東亞の現勢に對して理解を缺いてゐることだ

問 大東亞戰爭の兵站基地として滿洲國は今後いかなる方策を考へてゐるか

總理 これは滿洲の農產物が日本ならびに北支の食糧補給基地として重要役割を果しつゝあるとの一言に盡きる、滿洲は共榮圏における食糧基地の見地から農業增產には國を擧げて專心しつゝある、またその地理的關係から北辺鎭護の重責に任じ、万全の用意を整へてゐる

問 重慶政權をいかに見るか

總理 蔣介石一派は今日では逆に米英の日本牽制の道具に使はれてゐる、由來蔣には抗戰を理由づける名目は何もない、しかつて支那大衆の民心は蔣から離れ、今日彼の抗戰力は大したものでないと思ふ、また共產軍は主義も何もない雜兵の集合であつてまるで問題にならない、重慶政權がなければ日滿華三國の强き紐帶は完成するのでこれが出來たら大東亞戰爭の目的の大部分は達成されるといひ得る、大東亞共同宣言が發表されて重慶は大打擊を受けてゐることであらう

問 印度の獨立につき所見如何

總理 印度の志ある人々はつとに獨立鬪爭を展開し今日に及んだ、今回大戰爭を機會にスバス・ボース氏によつて自由印度仮政府の成立をみたことは獨立運動に一時期を画するもので、ボース氏が蹶起した結果印度全民衆はこれに呼應して印度解放の日は必ず訪れることを信ずる

軍事も一蓮託生 泰國代表

問 大東亞共同宣言についての御所見……

殿下 現在の情勢においては政治と經濟は不可分である、したがつて大東亞共同宣言の第二項目、自主獨立の尊重、總親和と第四項目の互惠による經濟繁榮は密接に結びついてゐるものであり、こゝから他の原則も發展して來るものと思ふ、この意味で今回の宣言中この二項目にとくに關心をもつものである

問 日泰協力關係强化の具體策について

殿下 日泰の協力關係はすでに完全な程度まで來てゐる、經濟的にみてもタイ國の農產物、原料品を船腹の許すかぎり日本に輸出してゐる、タイとしては今後困難は加重するものと思ふが、日本から製造品を仰ぎたい、しかし一歩進めてかゝる必需品の製造設備をタイが受入れることが出來れば日本の負擔を輕減すると同時にタイ國の經濟力の增進にも大きな力となり、兩國經濟提携の實は一層あがることを確信する

問 戰爭完遂に對するタイ國の決意ならびに對日軍事的協力方針についての御所見如何

殿下 戰爭完遂のためタイ國は日本と運命をともにし一蓮託生の關係にある、タイ國は日本との軍事協力を最後まで續ける固い決意をもつてゐる、たゞその具体的方策については軍機に關することゝ思ふ、タイ國の軍隊がタイ領外に出て戰ふかどうかも、これも敵側に情報を提供することになると思ふ

問 印度の独立について……

殿下 印度における飢饉の狀況はきはめて深刻で、もはや印度政府としては責任を負ひきれないゆゑに印度領域が大東亞共榮圏内に參加するまでは解決は到底できない、その解放は日本帝國とその同盟諸國の協力の下に自由印度仮政府の活躍によつて齎されるものと確信する

問 タイ國は更に失地の回復を希求されるか

殿下 タイ國は今回の日本政府の好意によるマライ四州ならびにシャン二州の新領土編入によりイギリスに對して失つた領土を回復し、また先年の泰、佛印紛爭で佛印國境も新に画定した、これら失地回復についてタイ國民は日本政府ならびに國民にふかく感謝してゐる

將來國防軍新設 比國代表

問 閣下は大東亞建設の五大原則中いづれを最重視せらるゝや

大統領 當面のフィリピンにとつては私は第二の「獨立親和の原則」を強調したい、何故ならばまづ各國の自主獨立が大東亞共榮圏建設の根柢であるからだ、もし日本が眞の獨立をわれ／＼に與へないとするならばフィリピン政府は「單なる傀儡政權」とけなすアメリカの惡宣傳に乘ぜられるであらう、今度の會議で日本はこの点を明確にしてアメリカの乘ずるところは皆無になつた

問 フィリピンは從來經濟上米國に依存し、多くのものを米國へ輸出してゐたが今後の新事態に應じこれをいかに調整するか

大統領 自分はフィリピンの獨立後、經濟國民委員會を設立したがこれは日本の企画院に相當するものでなかんづくフィリピンは農業國だから食糧の供給に一段と努力を拂はねばならぬと思つてゐる、私は一般的に目下あへて經濟繁榮といふことは強調せず、經濟安定といふことに重点をおき委員會にもそれを研究審議せしめることにしてゐる

問 大東亞の新興獨立國として閣下の抱負を伺ひたい

大統領 私の理想を一言に申すと各民族の精神的合一と大東亞各國の自主獨立安定である、それが政治的には自主獨立であり、經濟的にはフィリピンの自給自足を確保すると同時に大東亞の共榮を主とし社會的にはあらゆる民族の偏見差別を排除することである、文化的には東洋固有の文化を昂揚することである、もちろん西洋的なものを排斥する意味ではなく、その長所を採入れて東亞固有の文化を振興することである

問 フィリピンの防衛対策如何

大統領 比島には現在約一万人の警察隊があつて治安維持にあたつてゐるが、私はフィリピンの全地域の治安を確保するためには少くとも五万の警察隊が必要だと思ふ、しかし當面にはまづこれを整備し、しかして將來の独立を保持するために國防軍、國防省を設置すべきは當然となつて來るが、私はその出発点としてこの警察隊の強化を考へてゐる

『印度進軍』支援 ビルマ代表

問 大東亞宣言五項目中貴國の立場よりいづれの点に最重点を置かるゝや

總理 大東亞宣言五項目は永い眼で見れば平等に重要なことはきはめて明らかで、これをあらゆる点に敢行すべきものである、いかなる國家といへどもこの五つの一つをとつてこれがもつとも重要だとはいひ得ぬ、これを同時に有効に運用實行すべきものと信ずる

問 ビルマ反攻に對する對策、第一線政策の具体的遂行方策如何

總理 私は嚴に民事行政の点についてのみ答へ得る、作戰は主として日本軍當局の手にあるからである、戰爭遂行上必要な援助を提供し軍に協力することがビルマ國政[illegible]

問 印度獨立支援の具体策如何

總理 東條閣下もいはれわれ／＼會議に列したすべてのものも聲明を表したやうに民族闘爭は第一義的にはその民族自身によつて計画し遂行されなければならない、ビルマが貢獻するとすればあらゆる点での援助であるが、第一にビルマは明らかに印度獨立作戰の基地である、第二にビルマの道德的、政治的對印支持によつて印度國民軍の手に獨立の武器を與へ獨立戰爭に寄與することである、第三はビルマの物資供給および印緬國境地帶の地理上の知識を有することである、この三点が貢獻の主なものであるが、ビルマ國民はその他の方面でも印度國民軍の首腦者に私が約束した如く能ふ限り援助する意思を有してゐる

十一月號 科學畫報 【敵情報グラフ】英…郷土軍の防空・退避訓練の姿 米…兵器增强・空挺兵器の種々相 爆擊の科學性……足原武一 航空機の塗裝……坂田秀太郎 防空發電所の構想……古井修一 眞空技術……熊谷寬夫 人は何故疲勞するか（小山良修） 發明選報 國内鑛物資源の探査・野草を食べる楽しみ 七三錢 誠文堂新光社 東京神田

本日臨時四頁

擊滅！ 一冊の通帳が 彈丸！飛行機！軍艦となる 示せ一億の底力
三和銀行

有斐閣新刊 東京商大教授 大平善梧著 支那の航行權問題 （弘報十二号） 定價二・九〇 大東亞國際法叢書第四巻

建設社 ベルグソン哲學 全三巻 科學と哲學の理念 日本古代思想研究 現代日本名畫鑑賞

高志書房 理研所員 井上兼雄著 戰時下の食糧と體位（改訂版） 雨宮觀造著 航空の技術者の材料化學

觀音敎創建序說 特殊鋼の熔接法

鐵道常識讀本 新貨物運送規定研究 大敎社

天文書は恒星社 東洋天文學史論叢 恒星社

及川儀明著 生食の卓效 生食指導の最高權威書 興隆社

高野山大學編 眞言宗全書 全四十四巻 高野山大學出版部

平田俊春著 吉野時代の研究 山一書房

影山正治著 維新者の信條 七・五事件公判記録 大東塾出版部

積善館 新刊 西田直二郎監修 赤木志津子著 紫式部とその時代

法大教授 近藤忠義編 日本の女性文化 堀書店

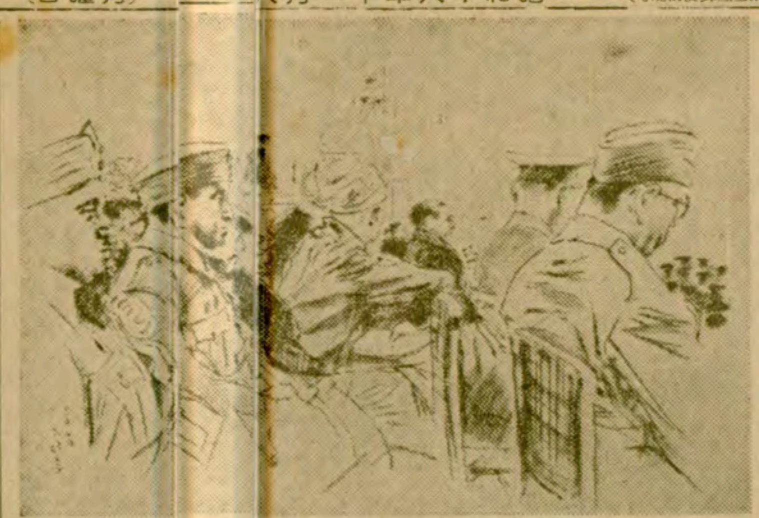
近刊 日露の戰聞書 隨筆 田園の霧 日本文化私觀 文體社

四方木書房 加藤順三著 歌集 葦火 風雲政治史

タタカフグンバ ウマノオヒタチ 日本保育館

大東亞結集國民大會に臨んで

日比野士朗記　宮本三郎畫



▽…聴衆は日比谷公園の廣場を埋め、日の丸の旗を中心に、盟邦六國の國旗が吹きちぎれさうにはためいてゐた

共存共榮、獨立親和、文化昂揚、經濟繁榮、世界進運貢献の五大原則を强調し「正義の向ふところ敵なし」と獅子吼して東條首相が降壇、大東亞宣言が終つて代表席の端にゐた汪院長が立上ると、群衆の中からわあつといふどよめきがあがつた

▽…白皙長軀の汪院長は心もちからだを前後に揺りながら堂々と語つた、通訳が「一部分の同胞の中には未だに迷夢の醒めぬものがある、われくは彼らに反省を求めるために努力を惜しまない」云々と通訳した時には、汪院長の胸中を察して万感胸に迫つた

次々に國の代表が登壇、満洲國の張総理がとつぐ大東亞の建設を誓つたのち、フィリピンのラウレル大統領が登壇すると群衆の右手からフィリピン在留者が三たび叫んだ「フィリピン」はもはや米國のフィリピンではない」とラウレル氏は叫んだ、群衆は熱狂した

▽…ついでビルマ代表のバー・モウ總理は拳を振り、天空を掴むやうにして語つた「私は軍人です、大東亞戦争の西の涯の砲煙の中から第一線の兵卒として軍服を着てこゝにきました」と總理は語つた、拳を大きく振りあげて「生か死か」と叫んだ、最後に印度假政府のボース氏が颯爽と立ち、沈痛な切々とした調子で語つた——

▽…私はこの大會の片隅からじつと、これらの代表者を眺めながら、祖國の運命を双肩にになふ人々の男らしい力にうたれた、この人たちにとつて祖國の解放一筋の人生であつた、私は一身を捨てゝ、この大きな發展に赴く、人間の偉大な熱情を自分の全身で感じながら立つてゐた、私たちの胸には、いま偉大な夢がくつきりと描かれてゐる、この大理想を實現する責任が私の双肩にもしつかりとかゝつてゐるとを、痛感しないわけにはいかないのである、たゞの一歩たりとも斷じて退くまい、私たちはこの大動亂のさなかにあつて、眞向から進んでいきたいと思ふのだ

▽…式場は見事に飾られ廣場を埋める群衆は代表たちの熱烈な言葉ごとにどよめいてゐるが、いつのまにか私にとつてそのやうな情景の一切は空であつた、たゞ偉大な夢を實現すべく祖國の運命の一切を双肩にになつた人々の、雄々しい熱情が、この式場の群衆を[illegible]、私の耳もとにまで潮騒のやうにひびいてくる群衆の歓声をきゝながら、静かにペンをおいて静かに祈りたい氣もちで胸が一杯である

感冒　鎭咳　セキミン　燐酸ヂヒドロコデイン配合　結核性、感冒、肺炎　喘息、急性氣管支炎　等の咳嗽に良好　三〇 一円　五〇 二円　大阪市東區道修町　笹岡藥品株式會社

軍用機獻納資金（本社寄託）（續報）

一萬圓（亡父母年回供養）大阪市生野區片江町　井上勇三郎
二千圓　神戸市兵庫區川崎町　米澤やす
千圓　大阪市阿倍野區晴明通　山形縣人
千圓　同東區道修町　井上とみ
千圓　同城東區古市大通　小西伊兵衛商店
千圓　神戸市神戸區三宮町　叶田製薬會社
千圓（代表者）三光商會　恩田憲男
千圓　兵庫縣武庫郡本山村谷本健藏方（故）小林暢喜
千圓（爲林君應召祈願）同川邊郡中谷村　富田熊作
五百円（亡天野三郎満中陰志）大阪市西區新町南通陽西工具製作所大阪營業所　横田靜代子
五百円（亡息次男満中陰志）神戸市葺合區生田町　稲葉雅雄
三百円　厚生組合生野鐵山勤勞報國隊第二班
三百円（長男戰死香奠返シ）神戸市兵庫區中道通　石場竹次郎
三百円（故堅子満中陰志）奈良縣吉野郡賀名生村　竹原忠親
二百五十七円　大阪府豐能郡豐中町所化工株式會社第十三期生見習工員
二百十五円　大阪市福島區玉川町北　向町會婦人部一同
……

總累計　千九百七十一萬五千六百二十圓八十一錢

實費の子供保險　千代田生命

斷じて歸さず

ブーゲンビル島沖海戰及航空戰

高村光太郎

來たるものは斷じて歸さず。
元寇のむかし然り。
今また然り。
濫溢たる南海の大潮時、
敵大艦隊動靜相ふくんで
ブーゲンビル島の[illegible]を討る。
東經一五五度南緯八度のあたり、
蜜蜂雲霞の打寄。
忽ちわが無敵海軍海空の精鋭、
巌をつんざいて雷撃また誘發。
巨にして尨大の敵艦瓦然し。
[illegible]
來たるものは斷じて歸さず。
神州不文の鐵則として今日に生く。
詩人ただ淚して戰人の如く
海上の同胞と共にその戰果を讀む。

陸軍（154）

火野葦平作　榎倉省吾畫

「馬鹿たれ」（七）

森博士は、友愛をなんとかして[illegible]うにと、努力するところがあつたが、どちらも頑固なので、どうもうまくいかない。藤村も仕方がないので、友愛の向くやうな心あたりを探してみた。その時には、彼は、先方に、かならず、元寇と神風とについての感想をあらかじめ聞いてみることを忘れないのである。

夏になつて「高木屋」は、いつになく、懐しく客を迎へ賑はした。「愛宕さん」にお詣りに來たといつて、珍しく藤家のワカの實家から、両親が揃つてひよつくり訪ねて來た。どちらも八十を越えてゐるのにすこぶる元氣で、これまでにも時々來たことはあるが、一緒につれだつてのことは、長い間にも數へるほどしかない。二十年ほども前に、手傳ひに來てくれてゐた末の妹のキヌが、もう三人の子持ちで、十二になる忠男といふ男の子をつれて、両親にしたがつてゐた。友愛は自分の父母は早く亡くなつたので、ワカの両親を大切にした。殊に、ワカの人となりの由つて來るところに、つねに思ひをいたしてゐるので、ワカの両親をふり仰いでみたい氣持もあつたのである。子供たちも、「おばあちやん」「おぢいちやん」となつき、夏休みなどには、川の近い母親の實家に行くことを樂しみにしてゐた。尼に毛の多い川蟹や、鰻や鮎がたくさんとれるのである。

「佛太郎は元氣にやつとるかや？」

八十四にもなつて腰も曲らない頑丈な祖父は、節くれだつた手を後にまはし、友愛の丹誠した庭の立木や苗床や畑を、眺望するやうに見まはりながら、訊く。

「はい、元氣にやつとりますやうです」藤郎で祖母に茶を入れながら、ワカが答へた。

祖父は孫たちを樂しさうに眺めわたしながら、

「みんな、だんだん、天子様のお役に立つやうになるのう。三も、秋人も、忠男も、もう、ちき[illegible]

「そら、いけんのう」といつたが、にこにこと、「なに、若いけ、ちき、しやんとなる、キヌの家の忠助も、ほんに弱い奴やつたが、今は、村の草角力でも、誰にも負けん奴になつたが」

子供は子供同志で、庭中を飛びまはつて遊んだ。

祖父母が歸つてから十日ほどして、友愛大尉が、園子と、三つになる[illegible]

「友二はどげな風な？」

「はい、あまり、まだはつきりせんやうな風で、天草の方に居ります」

「ちや」と、穆徹なためでない。しかし、そのあとで、ふつと思ひだした[illegible]

大東亞宣言を讀みて　新秩序の基礎確立

野村重臣

皇紀二千六百三年十一月五日、アジア十億民衆の興望を擔ひ、皇都東京に開會された大東亞會議は、六日、世界の歴史を轉換して、人類永遠の運命を決定すべき宣言を發表した。こゝに大東亞新秩序建設の大原則は確定したのである。

顧みるに東亞の諸民族は過去百有余年の間アングロサクソンの侵略と搾取に呻吟し、アングロサクソン國米、英の帝國主義支配に屈從し[illegible]

……

國民座右銘　十一月八日

「敵あり、有難し」　黒住宗忠

宗忠（安永九年生、嘉永三年七十一歳歿）は黒住教の教祖。この言葉は「敵の五箇條」の中の「話敵を掘へよ」といふ條目に出てくる。何事につけても敵ありと思へば、この世に敵のないものはない。人間生れた以上、敵に對するのが當然である。したがつて敵を嫌と思はず、有難いと思つて勇往邁進せよ。敵こそ人生の嬉しみである。この大安心は、天照大神の照し給ふ道に身をおくことによつて得られる、といふのが宗忠の信仰である。（龜井勝一郎）

阿波藩　御壁書

飯岡義斎

阿波藩の藩祖とする蜂須賀家政の傳統は古來嚴々として輝き、皇室守護海外發展と相並んで飛躍藩閥鎭護阿波の面目を發揮して來た。これは今の言葉でいふ職能報國、職域奉公、職分誠節の發露に外ならない。

殊に初代藩主蜂須賀家政（蓬庵）が天正十三年に入國して以來藩の經營に力を用ひ、藩政に對して適切な指導を與へたので、こゝに近代的發展を遂げ全國に冠たる阿波藍をはじめ、鹽・絹・紗糖などの特有物産の勃興を見るに至つた。

家政は、藩治に民政に心を配つたので、阿淡両國の民は上下一致して善政を謳歌した。その根本をなつた藩法は「御壁書」と「裏書」とである。「御壁書」は元和四年二月に二代至鎭の名に於て頒布せられた二十三箇條の定書で、「裏書」は第三代忠英の後見として家政が寛永四年七月に追加した七箇條である。

この二つは藩民の遵守すべき最も大切な掟として二百五十年間藩民を支配し、温和で堅實な民風の基礎に培つて來たのである。（筆者は撫養中學校囑託）

院長　井尻辰之助
華陽堂病院
大阪市南區千年町（大丸東二丁）
電話南二一八五（病室用）四四七五（事務用）

公社債・株式
聯合證券株式會社
東京都日本橋區小網町一ノ一
電話茅場町五〇一・五〇二・五〇三

刑事辯護　辯護士　富田貞男　大阪堂島[illegible]

木津川船渠株式會社　第[illegible]期決算公告　昭和十八年十月　[illegible]

第貳拾八回決算公告（昭和十八年九月三十日現在）　阪南銀行　[illegible]

第八期營業報告（昭和拾八年九月参拾日現在）　[illegible]

女子技術員募集　大阪遞信局工務部庶務課技術員養成所　大阪市東淀川區野中南通二丁目二七　電話北五七五〇・六四八〇番　[illegible]

第二十一回決算公告（昭和十八年九月三十日現在）　山大證券株式會社　[illegible]

山陽電氣軌道株式會社　昭和十八年十月　[illegible]

日本相互貯蓄銀行　第五回決算公告　[illegible]

昭和十八年臨時營業年度決算公告（昭和拾八年九月参拾日現在）　[illegible]

第十五期決算公告（昭和十八年六月三十日現在）　[illegible]

第四拾九期決算公告（昭和拾八年九月参拾日現在）　堺產業株式會社　[illegible]

第四十七期決算廣告（昭和十八年九月三十日現在）　株式會社高尾鐵工所　[illegible]

第百五回決算公告（昭和拾八年上期）　岐阜市……株式會社藝備銀行　[illegible]

若松築港株式會社　昭和拾八年拾月　[illegible]

第三期決算公告（昭和十八年九月三十日現在）　木津川運河土地株式會社　[illegible]

株式名義書換停止公告　本年十二月一日ヨリ定時株主總會終了ノ日マデ株式名義書換、質權ノ登錄及其ノ抹消ヲ停止ス　昭和十八年十一月　木津川運河土地株式會社

第九十六回決算報告（昭和十八年九月三十日現在）　近畿無盡株式會社　[illegible]

南海鐵道株式會社　[illegible]

川崎信託　第参拾参回決算公告（昭和拾八年九月参拾日現在）　[illegible]　川崎信託株式會社

扇町商業學校關係各位ニ告グ　[illegible]　大阪市立扇町商業學校

清算公告　當組合ハ昭和十八年六月三十日ノ第十二回總會ノ決議ニ依リ昭和十八年十月三十一日現在ヲ以ツテ清算ヲ開始仕候ニ付債權ヲ有セラルル方ハ昭和十八年十二月三十一日迄ニ申出相成度候　上海大上海路一一〇（交易大樓）　中支那軍票交換用物資配給組合　清算事務所　右清算人　小堀保行

株式名義書換停止公告　[illegible]　昭和十八年拾壹月　日本毛織株式會社

株式名義書換停止公告　[illegible]　昭和十八年十一月八日　大阪製鎖造機株式會社

政府保證中支振興債券（第九回）募集
募集額　貳千萬圓
利率　年四分貳厘
發行價額　額面壹百圓ニ付金九拾九圓五拾錢
期限　拾貳年
申込期間　拾壹月九日及拾日
拂込期日　拾壹月貳拾日
申込證據金　額面壹百圓ニ付金五圓
最終利回　四分貳厘六毛餘
取扱場所　興銀、正金、朝鮮、臺灣、勸銀、三井、三菱、安田、住友、三和、野村、東海、神戸、十五、昭和各銀行並ニ三井、三菱、安田、住友、三和各信託本店及內地支店

滿洲帝國公債定時償還公告　[illegible]　昭和十八年十一月　株式會社日本興業銀行

和歌教授　[illegible]

求居宅　[illegible]

三男時男儀豫而病氣療養中の處十一月三日午後七時二十分永眠致候間茲に生前の御厚誼を拜謝し御通知に代へ此段謹告仕候　追而告別式は十一月十日午後二時より三時まで神戸市葺合區生田町三丁目自宅に於て相營み可申候　尚供物等の儀は堅く御辭退申上候
昭和十八年十一月八日
神戸市灘區赤坂通八丁目五　父　前田新藏

父茂儀豫而病氣療養中の處[illegible]永眠致候間[illegible]此段謹告仕候
昭和十八年十一月八日
男　薗部彦　薗部康　親族總代　宇和島清　[illegible]

父寅太郎儀豫而病氣療養中ノ處養生不相叶十一月五日午後二時[illegible]永眠仕候間此段謹告候　[illegible]
昭和十八年十一月八日
大阪府池田市[illegible]
男　眞貝正三　（出征中）眞貝一郎　親族　同

父伴藏儀永々病氣療養中の處八十三歳の天壽を全うし十一月六日午前十時永眠致候間茲に生前の御厚誼を深謝し此段謹告仕候　追而葬儀は十一月九日午後二時より三時まで當坊に於て相營可申候
昭和十八年十一月八日
奈良縣北葛城郡當麻村當麻　中之坊住職　松村實照　親族總代　吉川宗伊作

父海軍技術少將從四位勳三等常盤秀二儀六日午前四時卒去仕候　就而九日午後一時より三時迄京都六角會館（烏丸六角東）に於て神式を以て告別式執行仕候茲に生前の御厚誼を深謝し此段謹告仕候　追而供花等の儀は御辭退申上候
昭和十八年十一月八日
嗣子　常盤一秀　親族　同夫

弊社取締役海軍技術少將常盤秀二殿六日卒去被致候　就而九日午後京都六角會館に於て告別式執行被致候間此段謹告仕候
昭和十八年十一月八日
壽重工業株式會社

中部日本新聞
讀賣報知 毎日新聞 朝日新聞
發行所 中部日本新聞社

聖斷畏し・平和の大詔降る

民族の保全に御軫念 皇國の再建を御垂示

赤子の戰禍を憫ませ給ふ

詔書

朕深ク世界ノ大勢ト帝國ノ現狀トニ鑑ミ非常ノ措置ヲ以テ時局ヲ收拾セムト欲シ茲ニ忠良ナル爾臣民ニ告ク

朕ハ帝國政府ヲシテ米英支蘇四國ニ對シ其ノ共同宣言ヲ受諾スル旨通告セシメタリ

抑〻帝國臣民ノ康寧ヲ圖リ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ皇祖皇宗ノ遺範ニシテ朕ノ拳々措カサル所曩ニ米英二國ニ宣戰セル所以モ亦實ニ帝國ノ自存ト東亞ノ安定トヲ庶幾スルニ出テ他國ノ主權ヲ排シ領土ヲ侵スカ如キハ固ヨリ朕カ志ニアラス然ルニ交戰已ニ四歳ヲ閲シ朕カ陸海將兵ノ勇戰朕カ百僚有司ノ勵精朕カ一億衆庶ノ奉公各〻最善ヲ盡セルニ拘ラス戰局必スシモ好轉セス世界ノ大勢亦我ニ利アラス加之敵ハ新ニ殘虐ナル爆彈ヲ使用シテ頻ニ無辜ヲ殺傷シ慘害ノ及フ所眞ニ測ルヘカラサルニ至ル而モ尚交戰ヲ繼續セムカ終ニ我カ民族ノ滅亡ヲ招來スルノミナラス延テ人類ノ文明ヲモ破却スヘシ斯ノ如クムハ朕何ヲ以テカ億兆ノ赤子ヲ保シ皇祖皇宗ノ神靈ニ謝セムヤ是レ朕カ帝國政府ヲシテ共同宣言ニ應セシムルニ至レル所以ナリ

朕ハ帝國ト共ニ終始東亞ノ解放ニ協力セル諸盟邦ニ對シ遺憾ノ意ヲ表セサルヲ得ス帝國臣民ニシテ戰陣ニ死シ職域ニ殉シ非命ニ斃レタル者及其ノ遺族ニ想ヲ致セハ五內爲ニ裂ク且戰傷ヲ負ヒ災禍ヲ蒙リ家業ヲ失ヒタル者ノ厚生ニ至リテハ朕ノ深ク軫念スル所ナリ惟フニ今後帝國ノ受クヘキ苦難ハ固ヨリ尋常ニアラス爾臣民ノ衷情モ朕善ク之ヲ知ル然レトモ朕ハ時運ノ趨ク所堪ヘ難キヲ堪ヘ忍ヒ難キヲ忍ヒ以テ萬世ノ爲ニ太平ヲ開カムト欲ス

朕ハ茲ニ國體ヲ護持シ得テ忠良ナル爾臣民ノ赤誠ニ信倚シ常ニ爾臣民ト共ニ在リ若シ夫レ情ノ激スル所濫ニ事端ヲ滋クシ或ハ同胞排擠互ニ時局ヲ亂リ爲ニ大道ヲ誤リ信義ヲ世界ニ失フカ如キハ朕最モ之ヲ戒ム宜シク擧國一家子孫相傳ヘ確ク神州ノ不滅ヲ信シ任重クシテ道遠キヲ念ヒ總力ヲ將來ノ建設ニ傾ケ道義ヲ篤クシ志操ヲ鞏クシ誓テ國體ノ精華ヲ發揚シ世界ノ進運ニ後レサラムコトヲ期スヘシ爾臣民其レ克ク朕カ意ヲ體セヨ

御名御璽

昭和二十年八月十四日

各國務大臣副署

恐懼斷腸・眞に申譯なし

聖斷遂に下る。[illegible]大東亞戰爭は昭和十六年十二月八日宣戰の大詔を拜してより三年八ケ月、支那事變勃發より八星霜を閲し[illegible]武運拙く敵國に對し和議を提案するの最惡事態に到達し、十四日畏くも詔勅を仰ぐとともに內閣告諭が發せられ、こゝに米英支三國宣言受諾のやむなきに至る、[illegible]しかしながら國民はわが民族史上未曾有の屈辱にみちたる事態に直面すると雖も詔勅に拜する畏き大御心に歸一し奉り、この冷嚴なる現實の正視に勇を鼓して大國民たるの衿持を失はず、その擧措に斷じて過誤なきを期すべきである、[illegible]

社說 大帝國が鉾を投ずるを見よ

大詔渙發さる。[illegible]

承詔必謹、大御心に歸一 必ず父祖の遺託に應へん

內閣告諭

[illegible]礎石として逞しく踏出し臣子の本分を盡すことこそ皇國を護持し祖先より享繼ぎし皇運扶翼の民族的使命を貫く所以である

鈴木首相

本日畏くも大詔を拜す 帝國は大東亞戰爭に從ふこと實に四年に近く而も遂に聖慮を以て非常の措置に依り其の局を結ぶの他途なきに至る臣子として恐懼謂ふべき所を知らざるなり

顧みるに開戰以降遠く骨を異域に暴せるの將兵其の數を知らず本土の被害無辜の犧牲亦茲に極まる思うて此に至れば痛憤限りなし然るに戰爭の目的を實現するに由なく戰勢亦必ずしも利あらず遂に科學史上未曾有の破壞力を有する新爆彈の用ひらるゝに至りて戰爭の仕法を一變せしめ次いでソ聯邦は去る九日帝國に宣戰を布告し帝國は正に未曾有の難局に逢着したり

聖慮の宏大無邊なる世界の和平と臣民の康寧とを冀はせ給ひ茲に畏くも大詔を渙發せらる 聖斷既に下る赤子の率由すべき方途は自ら明かなり

固より帝國の前途は之に依り一層の困難を加へ更に國民の忍苦を求むるに至るべし然れども帝國は此の忍苦の結實に依りて國家の運命を將來に開拓せざるべからず本大臣は茲に万斛の涙を呑み敢て此の難きを同胞に求めむと欲す

今や國民の齊しく嚮ふべき所は國體の護持にあり而して苟も既往に拘泥して同胞相猜疑し內爭以て他の乘ずる所となり或は情に激して輕擧妄動し信義を世界に失ふが如きことあるべからず又特に戰死者戰災者の遺族及傷痍軍人の援護に就ては國民悉く力を效すべし

政府は國民と共に承詔必謹刻苦奮勵常に大御心に歸一し奉り必ず國威を恢弘し父祖の遺託に應へむことを期す

尚此の際特に一言すべきは此の難局に處すべき官吏の任務なり 畏くも至尊は爾臣民の衷情は朕善く之を知ると宣はせ給ふ官吏は宜しく 陛下の有司として此の御仁慈の 聖旨を奉行し以て堅確なる復興精神喚起の先達とならむことを期すべし

昭和二十年八月十四日 內閣總理大臣男爵 鈴木貫太郎

三國共同宣言受諾 十日四國政府に通達

[illegible]

誓つて皇國護持 英靈と共に生き拔かん

[illegible]

預貯金の安全確保 モラトリアム實施せず

藏相談

[illegible]

大藏大臣談 [illegible]

米英支三國共同宣言全文

【一九四五年七月二十六日ポツダムに於て】

[illegible]

カイロ宣言

【一九四三年十一月二十七日】

[illegible]

國體變革の意思なし

[illegible]

機動部隊を攻撃 空、巡各一隻大破

大本營發表 (昭和二十年八月十四日十時三十分) [illegible]

戰艦等十三隻屠る 潜水部隊、廿日間の戰果

[illegible]

道路急設の敵兵を殲滅

[illegible]

ソ軍、羅津に上陸

その後における満鮮ソ國境方面の戰況次の通りである

朝鮮方面 [illegible]

琿春方面 その後變化なし

綏芬河方面 [illegible]

松花江方面 [illegible]

北正面 大なる變化なし

ハイラル正面 [illegible]

外蒙方面 [illegible]

樺太方面 [illegible]

大轉進作戰に成功 有力部隊シッタン東岸へ

[illegible]

東海へP51百機

[illegible]

B29五機侵入

[illegible]

戰爆七十、九州へ

[illegible]

米新議會再び召集

【リスボン十三日發同盟】[illegible]

米大統領重慶大使會談

[illegible]

米戰艦アラバマ損傷

【リスボン十三日發同盟】[illegible]

米新型爆撃機發表

[illegible]

中日春秋

[illegible]

靜かなる林の如く 危局にあらゆる手

戰ひは終つた、嵐の如き激動の……

命も何か 鈴木老首相の苦衷

艱難万苦寄せるとも 忠誠心に光求めて 妄動こそ大事を招來

安倍内相謹話

本日畏くも御詔勅が降りました、上御一人に對し奉り何んとお詫び申上げやうもなくまた汝々として努力された國民各位に對し寔に申譯なく存ずる次第であります 恐れ多くも國體護持と國民慈愛の深遠にして優渥なる聖慮の程を拜察し奉る時われ／＼はたゞ／＼至尊を信じ奉るものであります、たとへ如何なる障害に遭遇致しませうともこの民族の力を培養して一路將來の建設に邁進し皇運を無窮に扶翼し奉らんことを國民各位と共に深く期して參りたいと存じます 全靈を捧げて承詔を必謹 粛然として一糸紊れざる秩序と結束とをもつて國力の培養回復に專念し大御心に對へ奉らねばならないと思ひます、今日この際万一この結束が弛緩し秩序が紊れるやうなことがあればそれこそ取返しのつかぬ大事を招來することとなるのであります、なほこれからはわれ／＼が想像も及ばぬ色々な困苦艱難に當面することでございませうが官民一致協力全國民が眞に仲良く各々道義を守り乏しきに耐へ辛きを忍び互ひに援け合ひこれを切り抜けてゆきたいものであります、私は三千年培ひ來つた大和民族の忠誠心と底力と

人心の和 新村出

胸を永遠に 佐佐木信綱

誠足らざるか・斷腸の思ひ切々

宮城二重橋前に皇國護持を祈る赤子の群

感慨新た戰ひの跡 大東亞戰爭日誌に偲ぶ

昭和十六年

十二月八日 宣戰の大詔渙發△ハワイ海戰△馬來半島に奇襲上陸△米英に對し宣戰布告

十日 マレー沖海戰△陸軍ルソン島北部へ上陸

十六日 英領ボルネオに敵前上陸

十七年

十五日 シンガポール陥落

二十日 バリ島沖海戰

廿七日 スラバヤ沖海戰

三月一日 バタビヤ沖海戰△ジャワ島敵前上陸

八日 ラングーン陥落△ニューギニアに敵前上陸

九日 ジャワ島完全占領

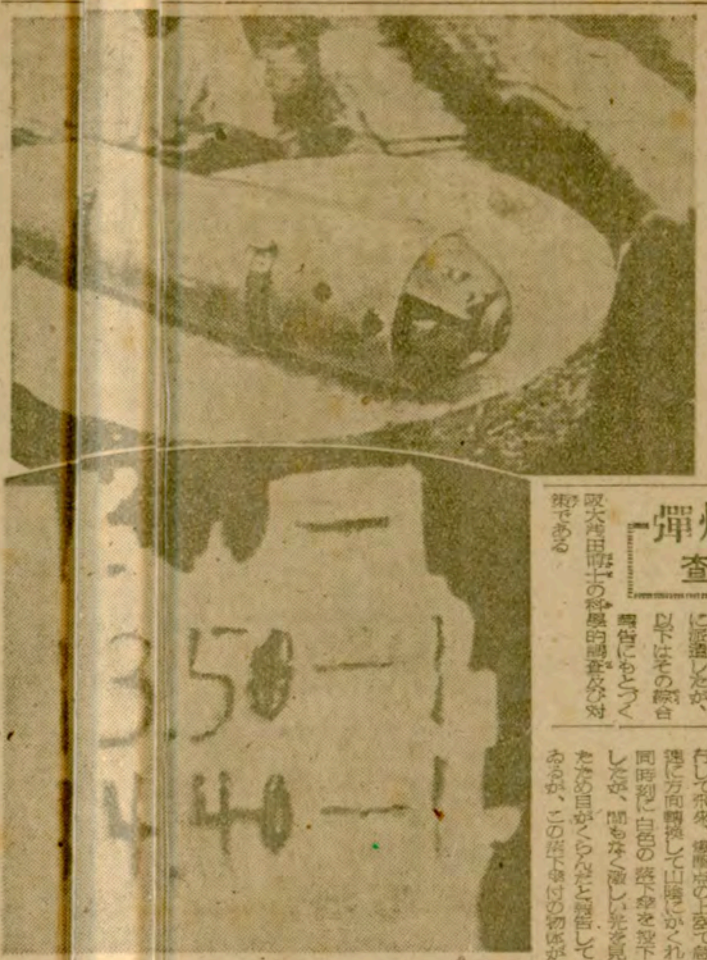
十八年

十九年

二十年

何かなし熱田の杜へ 嗚咽いつか號泣 武神に祈る皇國護持

戰災歸農者の爲 學徒が開墾援軍 總監府に食糧増産本部を設置



原子爆彈 科學調査

落下傘に觀測裝置 爆風死傷は少い 被爆中心地滞在は危險

爆撃の狀況

對策

鐵塔上で爆發實驗 米陸軍省で發表

大塚中國總監 廣島で戰災死

配給

日銀異動

放送